



付録

- [priv インストール パッケージ \(1 ページ\)](#)
- [secure disk erase \(2 ページ\)](#)

priv インストール パッケージ

HX Data Platform 暗号化パッケージをインストールします。

priv install package {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明
<code>--local</code>		クラスタの現在のノードにパッケージをインストールします。
<code>--cluster</code>		クラスタの使用可能なすべてのノードにパッケージをインストールします。いずれかのノードが利用できない場合、パッケージはそのノードにインストールされません。 (注) クラスタの現在の状態が HEALTHY/WARNING の場合にのみ有効です。
<code>--path</code>		パッケージへのパス。

表 1: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0(1b)	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0(1b) で追加されました。

コマンド デフォルト

デフォルト (または [なし (None)])。

使用上のガイドライン 例：`priv install package` コマンドでは、`{}` で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、`[]` で囲まれた引数を任意に指定できます。

secure disk erase

ディスクのベーシック（モード「0」）および標準（モード「1」/モード「2」）サニタイズを行うためのオプションを備えたディスク消去ユーティリティです。



- (注)
- 標準モードの消去の場合、ドライブで安全な消去操作をトリガーでき、**--progress** オプションを使用して進行状況を追跡できます。
 - 複数パスの上書きとユーザー指定のパターンは、HDD でのみ許可され、SSD では許可されません。
 - 最後のプライマリ コピー チェックをスキップするには、**--skip-last-primary-check** オプションを使用して、ディスクの最後のプライマリ コピー チェックをスキップします。このフラグは、ノードがクラスタの一部ではない場合、ノードが中間状態にある場合、またはクラスタがオフライン状態の場合に使用できます。ドライブにデータの最後のプライマリコピーが含まれている場合は、データが永久に失われることに注意してください。
 - セキュアなディスク消去**の進行中に再起動/電源が中断され、電源が復元された場合、ディスクがコントローラ VM に表示されないことがあります。この場合、消去がバックグラウンドで完了するまでの推定時間待機してから、コントローラノードを再起動する必要があります。推定時間は、以下の消去レートを使用して決定されます。

For HDD average erase rate is ~2hours/TB.
For SDD average erase rate is ~2Mins/TB.



(注) 推定合計時間は、上書きカウントの数に比例します。

secure_disk_erase {flags}

構文の説明

Option	必須またはオプション	説明 (Description)
-h, --help	任意	secure disk erase コマンドのヘルプを表示します。

Option	必須またはオプション	説明 (Description)
-d, --disk-path	必須	<p>対象ディスクの絶対パスを指定します。</p> <p>(注) このコマンドを実行する前に警告が表示されます。</p> <pre>admin:~\$ secure_disk_erase -d /dev/sde</pre> <p>このユーティリティを使用すると、ドライブからデータが回復不能に消去されます。注意して続行してください。ディスク /dev/sde の storfs 署名が破棄されます。[Y/N] で続行します。「Y」はシステムからディスクが正常に削除されました。「/dev/sde」はディスク「/dev/sde」の基本消去を開始しています。ディスク /dev/sde での消去に成功しました。</p>
-m, --mode	任意	<p>モード {0,1,2} を示します。消去モードは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (default: 0): 0 - ディスクから storfs 署名のみを消去します。 • 1 - シングルパスのフルディスク消去。 • 2~3パスの完全なディスク消去 (HDD に対してのみ有効)。
-p, --erase-pattern	オプション (HDD のみ有効です)	任意の消去パターン。
-o, --overwrite-count	オプション (HDD のみ有効です)	上書き回数 (0 回を超える)。
-s, --skip-last-primary-check	任意	ディスクの最後のプライマリ チェックをスキップします。ノードがアクティブ クラスターの一部でない場合にのみ許可されます。
-r, --progress	任意	指定されたディスクの安全な消去の進行状況を確認します。進行状況は、ディスクに対してアクティブな消去操作が進行中の場合にのみ表示されます。

表 2: コマンド履歴

HX リリース	変更内容
5.0(1b)	このコマンドは、Cisco HX リリース 5.0(1b) で追加されました。

コマンド デフォルト デフォルト（または [なし (None)]）。

使用上のガイドライン 例：secure disk erase コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。